

(別紙)

成果の説明書

(氏名)吉原 美那子	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 研究</p> <p>① 共助社会におけるNPOの位置づけと特質 共助社会の構築に向けたNPOの現状を確認するとともに、そこに顕在・伏在する課題を、財政基盤の獲得や人材の確保、専門性の担保について、青少年育成の側面から考察を行った。本研究の成果を、日本教育制度学会第22回大会（高知大学、11月）課題別セッションVにて発表した。</p> <p>② 英国の青少年育成分野における市民セクターの役割 英国の市民社会セクターと政府との関係に関わる分析を、訪問調査に基づき明らかにした。そのなかでも、特に子ども・青少年育成活動団体に着目し、市民社会セクターと市民社会組織の特質、及び市民社会セクターと政府、または学校。本研究の成果は、「英国の市民社会セクターと政府の関係」（平成24～26年度日本学術振興会科学研究費基盤研究（B）、研究代表者 宮腰英一（東北大学））として、成果報告書にまとめた。</p> <p>(2) 教育 〔学部講義〕すべての科目に、ワークショップ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ロールプレイングのいずれかまたは複数を取り入れ、学生が主体的に考える授業を目指した。 〔演習〕演習Ⅰ及びⅡでは、「危機管理と学校」、「防災教育」、「地域づくりと若者・子どもの育成」、を3、4年の共通課題とし、フィールド調査として宮城県仙台市、女川町をフィールド調査対象とし調査を実施した。地域住民へのインタビュー、講師を迎えての講演会、自治体及びNPOへの訪問と子どもたちとのディスカッションなどを通して、東日本大震災の被災地の防災教育の現状、学校のあり方の見直し、被災地のこれからを担う子どもたちの地域づくりへの思いを明らかにした。その成果は動画にまとめた。 〔教職課程〕新学年に対するきめ細やかな履修主導に力を入れた。地域政策学部の教職課程の運営や学生の教員採用試験に関わる指導も行った。</p> <p>(3) 社会貢献</p> <p>① 安中市教育委員会事務点検評価委員（平成26年7月） ② 高崎市公民館運営審議会委員（平成26年7月より） ① 高崎市中央公民館主催事業 地域づくり支援・ボランティア養成事業「あなたを生かす シニア講座」講師（平成27年1月）</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>・教員免許状更新講習講師：「必修領域 学校の内外における連携協力についての理解」</p>	